

掛川市沿岸部浸水深図

静岡県第4次地震被害想定
レベル2の津波の最大浸水深図

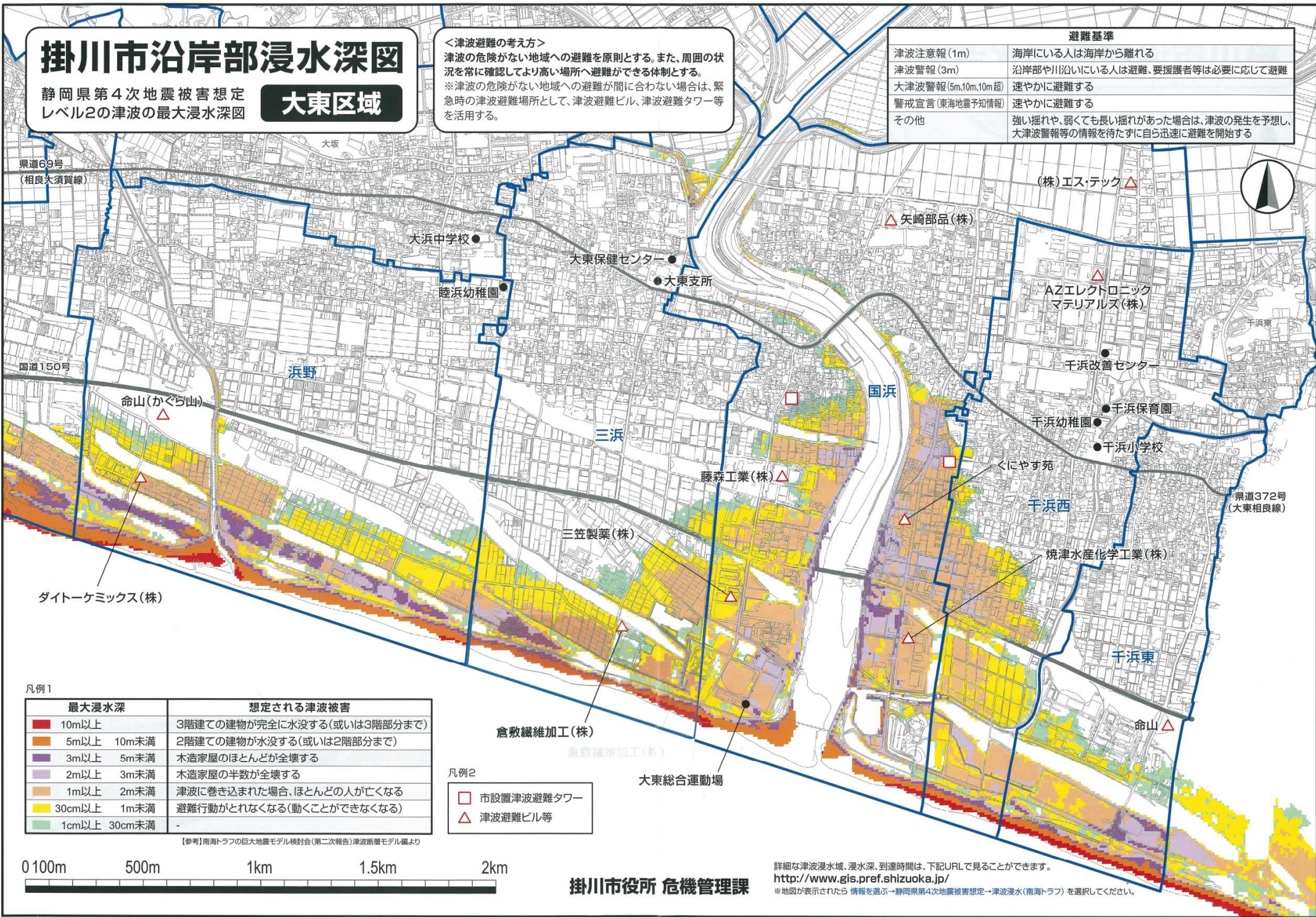
大東区域

<津波避難の考え方>

津波の危険がない地域への避難を原則とする。また、周囲の状況を常に確認してより高い場所へ避難ができる体制とする。
※津波の危険がない地域への避難が間に合わない場合は、緊急時の津波避難場所として、津波避難ビル、津波避難タワー等を活用する。

避難基準

津波注意報(1m)	海岸にいる人は海岸から離れる
津波警報(3m)	沿岸部や川沿いにいる人は避難、要援護者等は必要に応じて避難
大津波警報(5m,10m,10m超)	速やかに避難する
警戒宣言(東海地震予知情報)	速やかに避難する
その他	強い揺れや、弱くても長い揺れがあった場合は、津波の発生を予想し、大津波警報等の情報を待たずに自ら迅速に避難を開始する



凡例1

最大浸水深	想定される津波被害
10m以上	3階建ての建物が完全に水没する(或いは3階部分まで)
5m以上 10m未満	2階建ての建物が水没する(或いは2階部分まで)
3m以上 5m未満	木造家屋のほとんどが全壊する
2m以上 3m未満	木造家屋の半数が全壊する
1m以上 2m未満	津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなる
30cm以上 1m未満	避難行動がとれなくなる(動くことができなくなる)
1cm以上 30cm未満	-

凡例2

- 市設置津波避難タワー
- △ 津波避難ビル等

【参考】南海トラフの巨大地震震度検討会(第二次報告)津波断層モデル編より



掛川市役所 危機管理課

詳細な津波浸水域、浸水深、到達時間は、下記URLで見ることができます。
<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/>
※地図が表示されたら 情報を選ぶ→静岡県第4次地震被害想定→津波浸水(南海トラフ) を選択してください。